

衆議院北朝鮮による拉致問題等に関する 特別委員会ニュース

平成 30. 4. 2 第 196 回国会第 3 号

4 月 2 日（月）、第 3 回の委員会が開かれました。

1 北朝鮮による拉致問題等に関する件

- ・河野外務大臣、加藤国務大臣（拉致問題担当）、小此木国務大臣（国家公安委員会委員長）及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

辻清人君（自民）

- ・拉致問題については、日朝の二国間で取り組む必要がある。安易に融和路線に向かわないようにしつつ、拉致問題が取り残されないようにするという観点を踏まえ、日朝首脳会談の実現可能性について伺いたい。
- ・2014 年のストックホルム合意については、北朝鮮側が一方的に履行していない状況だと認識しているが、同合意の現在の有効性について伺いたい。
- ・北朝鮮による日本人拉致がいかに関非人道的な行為か、国際的な啓発を進めるべきだと思うが、加藤国務大臣の所見を伺いたい。

竹内譲君（公明）

- ・3 月 6 日に韓国大統領府は、韓国の特別使節団と金正恩委員長との会談の結果について、北朝鮮が非核化の意思を明確にしたと発表した。北朝鮮側は未だに発表していない。北朝鮮が本当に核兵器を廃棄する意思があるのか疑わしいと思うが、河野外務大臣の見解を伺いたい。
- ・最近の国連安全保障理事会決議違反の事例とその分析状況について、警察庁に伺いたい。
- ・若者を含めた国民への拉致問題に対する新たな情報発信の必要性について、加藤国務大臣の見解を伺いたい。

本多平直君（立憲）

- ・4 月 27 日に開催予定の南北首脳会談で、日本人拉致問題を取り上げてもらえるよう、韓国に対しどのような働きかけを行い、どのような感触を得ているのか、河野外務大臣に伺いたい。
- ・河野外務大臣は所信の中で、「中国に対しても、中朝間のやり取りにおいて拉致問題を取り上げるよう働きか

けていく」と発言しているが、中国への働きかけの状況について伺いたい。

- ・日本の北朝鮮政策が強硬策に偏り過ぎたのが、この 15 年間拉致問題が膠着した原因だと考えるが、河野外務大臣の見解を伺いたい。

源馬謙太郎君（希望）

- ・拉致問題に対する世論の関心が低下する中、15 年間進展がないという状況について、加藤国務大臣の認識を伺いたい。
- ・昨年 12 月に希望の党が安倍総理に提出した要請文で記述したように、政府は「これまでの拉致問題対策が失敗だった」と認めるべきだと思うが、加藤国務大臣の見解を伺いたい。
- ・希望の党は上記要請文において、総理直轄の拉致被害者救出に特化した組織を設けるべきだと提案したが、その必要性について、加藤国務大臣の見解を伺いたい。

もとむら賢太郎君（希望）

- ・いわゆる「ストックホルム合意」について、現在機能していないにもかかわらず、なぜ政府は北朝鮮に履行を求め続けているのか、加藤国務大臣の見解を伺いたい。
- ・家族会等が 3 月 29 日に、米朝首脳会談を最大限活用して「全被害者の一括帰国」の実現を求める決議を行い、翌 30 日に安倍総理に同決議を手交したことをどのように受け止めているのか、加藤国務大臣及び河野外務大臣の所感を伺いたい。
- ・北朝鮮からの漂着船の生存者に対する拉致被害者や特定失踪者に関する情報の確認や沿岸警備に関する海上保安庁との連携の実施状況について、小此木国務大臣に伺いたい。

江田憲司君（無会）

- ・政府は、拉致被害者家族に対する情報提供を、どの位の頻度で、どのような場を通じて行っているのか、説明されたい。
- ・2014年に北朝鮮が日本と接触した際、田中実さん及び金田龍光さんが北朝鮮に入国したことを認めていたとする共同通信の報道内容は事実か。事実であれば政府として公表すべきではないか。加藤国務大臣の見解を伺いたい。
- ・日朝首脳会談に関し、河野外務大臣が3月31日の講演で「何もしなくて構わない」と発言したとされていることと、安倍総理が参議院予算委員会で北京の大使館ルート等を通じて調整している旨の答弁していることとの整合性について、説明されたい。

笠井亮君（共産）

- ・南北首脳会談、米朝首脳会談、中朝首脳会談等の動きは北朝鮮問題を対話による平和的解決を促進する動きと考えるが、加藤国務大臣及び河野外務大臣の所見を伺いたい。
- ・日本をはじめ関係国は、2005年の六者会合「共同声明」に立ち返って北朝鮮問題の解決を図ることが大事だと思うが、河野外務大臣の所見を伺いたい。
- ・2005年の六者会合「共同声明」とともに2002年の日朝平壤宣言に基づき拉致問題解決を含む諸懸案解決のため、対話による平和的解決の流れに日本政府として積極的に関与する必要があると思うが、加藤国務大臣の所見を伺いたい。

串田誠一君（維新）

- ・北朝鮮が非核化について言及していないにもかかわらず、河野外務大臣は本委員会における所信の中で、「韓国政府の努力に敬意を表します」と発言しているが、何に対して敬意を表するのか伺いたい。
- ・北朝鮮の核・ミサイル廃棄について南北の条約や米朝合意に至り経済制裁が解かれても、日本は拉致問題が解決しない限り与しないという理解でよいか、河野外務大臣に伺いたい。
- ・加藤国務大臣は所信の中で、「アニメ『めぐみ』の教育現場での積極的活用等について、全国の教育委員会に対し通知を発出し、協力を要請したところ」と発言しているが、制作後10年もたって「要請したところ」とはどういう意味か伺いたい。